

戦略 1

観光客数を、77万人から200万人まで増やします

【戦略1を達成するための主な取り組み】

新=新規事業、拡=拡充事業（事業名の頭に標記）

拡 栗駒山麓ジオパーク推進事業

6,358万円

(担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係)

栗駒山麓ジオパークの推進を図るため、ジオガイドの養成や防災ジオ読本を活用した防災教育事業、栗駒山麓ジオパーク学習発表会など、栗駒山麓ジオパークの柱である「防災教育」、「学術研究」、「観光」を意識しながら、幅広くジオパーク活動を展開しました。

また、栗駒山麓ジオパークの魅力を市内外へ情報発信するとともに、ジオツアーをはじめとする交流人口の拡大や、体験、学習などのジオパーク活動の拠点施設となるビジターセンターの実施設設計とジオサイト説明看板等の整備を行いました。



災害の甚大さと防災の重要性を説明するジオガイドと熱心に説明を聞く生徒（瀬峰中学校2年生ジオパーク学習）



地形や歴史・文化を多国語（日本語・英語・中国語・韓国語）で表記した説明看板（有壁宿付近）



巨大地すべりが発生した荒砥沢周辺の岩石を、真剣に観察する児童（宮野小学校6年生ジオパーク学習）

戦略 1

観光客数を、77万人から200万人まで増やします

【戦略1を達成するための主な取り組み】

新=新規事業、拡=拡充事業（事業名の頭に標記）

新 築館多目的競技場整備事業

1, 282万円

【H29年度への繰越額 2, 040万円】

（担当：社会教育課スポーツ推進係）



築館多目的競技場整備後のイメージ図

東京オリンピックに出場する選手団の事前キャンプ、全国規模の大会及び大学等の合宿を積極的に誘致し、交流人口の増加を図るため、築館多目的競技場への管理棟等の施設整備に向けた設計業務等を行いました。

戦略 2

企業の誘致を進め、自動車関連産業など4社の誘致、

【戦略2を達成するための主な取り組み】

1千人の雇用を実現させます

企業立地投資奨励金

6億円

企業立地促進奨励金

2, 032万円

（担当：産業戦略課企業戦略係）

企業立地投資奨励金

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模と市内在住の新規常時雇用者数に応じて投資額の20%を助成しました。

助成件数：2社



豊田合成東日本株式会社・宮城工場（高清水地区）

企業立地促進奨励金

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じて固定資産税相当額を助成しました。

助成件数：7社



太平洋工業株式会社栗原工場（栗駒地区）

戦略 3

「子育ては栗原で」をスローガンに、

若者の人口を1千人増やします

【戦略3を達成するための主な取り組み】

新=新規事業、拡=拡充事業（事業名の頭に標記）

拡 地域子育て支援センター運営事業

6,350万円

（担当：子育て支援課保育サービス係）

地域全体で子育てしやすい環境を推進するため、育児不安を抱える保護者の相談や子育てサークルの育成支援等を行う子育て支援センターを志波姫地区に1か所増設しました。これにより、平成28年度から市内全地区で事業を実施しています。



築館地区子育て支援センターでの活動の様子

利用実績

年間開所日数	延べ	2,095日
利用実績者数	延べ	24,764人

拡 子育て応援医療費助成事業

2億3,289万円

（担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係）

乳幼児、小学生、中学生の適正な医療機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入院及び通院に係る医療費のうち、保険診療分の自己負担額を全額助成しました。

平成28年10月からは助成の対象を18歳まで引上げ、子育て家庭の更なる経済的負担の軽減を図りました。

助成件数

●未就学児	延べ	57,123件
●小中学生	延べ	64,261件
●高校生等	延べ	5,281件
合計		126,665件

戦略 4

幼稚園の3年保育の実現と、

【戦略4を達成するための主な取り組み】

保育所入所の待機児童をゼロにします

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 幼稚園給食費補助金事業

807万円

(担当：学校教育課学務係)

保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園に同時入園している2人目以降の園児や所得が一定以下となる世帯（生活保護世帯・市民税非課税世帯）の給食費を補助しました。

補助実績

所得が一定以下となる世帯 101世帯
園児が同時入園している世帯 81世帯



幼稚園の給食の様子

拡 幼稚園預かり保育事業

9,933万円

(担当：学校教育課学務係)



幼稚園の預かり保育の様子

保護者の就労等により、幼稚園の教育時間外に保育を必要とする園児を対象に預かり保育を行いました。

また、平成28年度から市内全ての幼稚園で3年保育を開始したことにより、土曜日保育や延長保育も併せて実施しました。

戦略 4

幼稚園の3年保育の実現と、

【戦略4を達成するための主な取り組み】 保育所入所の待機児童をゼロにします

 = 新規事業、 = 拡充事業 （事業名の頭に標記）

 幼稚園就園奨励費

2, 512万円

（担当：学校教育課学務係）



私立幼稚園での運動会の様子


市内の私立幼稚園に通う園児の教育環境の維持・向上を図るため、私立幼稚園に対して運営費等の補助金を交付しました。

また、私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担を軽減するために、授業料等に対する補助金を交付しました。

戦略 5

「学府くりはら」を目指して、

【戦略5を達成するための主な取り組み】 小・中学生の学力をレベルアップします

 学校ICT環境推進事業
教育用コンピュータ整備事業

9, 380万円

1, 866万円

（担当：学校教育課学務係）

授業内容を一人一人がより理解できる「分かる授業」を実現し、「確かな学力」の育成を図るために、全ての市内小学校に児童用のタブレット端末を整備し学習環境を整えました。




タブレットパソコンを使った授業の様子

戦略 5

「学府くりはら」を目指して、

【戦略5を達成するための主な取り組み】 小・中学生の学力をレベルアップします

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

学府くりはら「学力向上推進事業」

1, 797万円
(担当：学校教育課指導係)

小・中・高校生を対象とした学習会「学府くりはら塾」や、全ての小・中学校の児童生徒を対象とした学力テスト及び学校満足度調査を実施し、学力向上を図りました。



「学府くりはら塾」の様子

戦略 6

高齢者の施設入所待機者300人を半分にします

【戦略6を達成するための主な取り組み】

介護予防事業

3, 127万円

介護予防普及啓発事業
(介護保険特別会計)

120万円

(担当：介護福祉課認定調査係)



地域での介護予防教室の様子

高齢者が、身体機能を維持するための方法を楽しく体験し、自分の健康づくりの一環として日常生活に取り入れられるような介護予防事業を行いました。日常生活の中での簡単な工夫により、心身の老化を防ぎ、自分らしい自立した生活ができるよう専門スタッフがみなさんの介護予防をお手伝いしました。

利用実績

介護予防教室参加者：473人

戦略 7

市立病院の医師を増やし、充実させます

【戦略7を達成するための主な取り組み】

医学生・看護学生修学資金等貸付事業 (病院事業会計)

2, 360万円

(担当：医療管理課総務係)

医師招へい及び看護師確保を図るため、将来、市立病院及び診療所での勤務を希望する医学生・看護学生に対し修学資金等を貸し付けました。

※医学生修学一時金貸付者数 平成18年度～平成28年度：18人
※看護学生修学資金貸付者数 平成22年度～平成28年度：25人

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

多面的機能支払交付金

4億4,815万円

(担当：農業政策推進室農業政策推進係)

田や畑及び農業用水などの資源や農村環境の保全を図るための共同活動に対して支援しました。



共同活動による植栽作業

住宅用太陽光発電設備設置事業補助金

戦略3

938万円

(担当：環境課環境政策係)

地球温暖化対策と低炭素社会の実現を目的として、一般家庭における太陽光発電システムの設置に対して助成しました。

助成件数：82件



一般家庭への普及が進む太陽光発電

クリーンセンター基幹的設備改良事業

7億7,144万円

(担当：環境課生活環境係)

クリーンセンターの延命化を図るため、基幹的設備改良工事を行いました。

基幹的設備改良工事の主な内容

- 分散型制御システム (更新)・
- 非常用発電設備 (更新)・4成分分析計 (更新)・
- ごみストックヤード (新設)



更新を行った非常用発電設備

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

住環境リフォーム助成事業

戦略3

3,483万円

(担当：建築住宅課建築係)

市民の住環境の向上を図るため、個人住宅のバリアフリー化等を含むリフォーム工事に対して、市内の業者が施工した場合は対象工事費の15% (上限30万円)、市外の業者が施工した場合は対象工事費の5% (上限10万円) を助成しました。

さらに、水洗化工事を実施した場合は、10万円を上乗せして助成しました。

助成件数：145件



トイレのリフォーム工事 (バリアフリー化)

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域交通対策事業

2億2,902万円

戦略3

(担当：市民協働課地域振興係)

公共交通の利便性の向上を図るため、市民のニーズに配慮したバス運行を行いました。

また、市民バス全路線（古川線を除く。）において、中学生・高校生の片道運賃は100円、古川線では通学定期券助成を継続して実施しました。

さらに、公共交通ネットワークを再構築するため、栗原市地域公共交通網形成計画を作成しました。



市民バスを利用する学生

都市計画街路事業

2億7,480万円

戦略1

【H29年度への繰越額 2,704万円】

(担当：都市計画課都市計画係)

都市計画道路として安全で快適な交通体系を確保しながら、利用しやすい街路づくりを推進しました。

《築館》一迫南線、駅前大通線
《若柳・志波姫》新山十文字線



整備が進む都市計画道路新山十文字線（若柳）

携帯電話基地局整備事業

2,648万円

戦略3

(担当：市政情報課情報化推進係)

栗駒鳥沢地区に携帯電話基地局（NTTドコモ・ソフトバンク）を整備し、携帯電話の不感エリアを解消しました。



新たに設置した携帯電話基地局

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

消防施設整備事業 8,995万円

戦略3 (担当：消防本部総務課総務係
消防本部警防課警防係)

1.5トン水槽と圧縮空気泡消火装置及びホースカーを装備した水槽付消防ポンプ自動車や指令車を更新するとともに、災害用軽トラックや消防団に小型動力ポンプ付軽積載車を配備しました。また、防災体制のさらなる強化のため、格納庫や消火栓を整備しました。



更新した北分署タンク車



消防団用小型動力ポンプ付軽積載車

災害対策事業 2,320万円

(担当：消防本部総務課総務係
消防本部警防課警防係)

平成27年9月関東・東北豪雨災害の教訓を踏まえ、水防資機材の未整備地区や地域及び災害拠点となる栗原消防署に必要な水害対策用資機材を配備しました。

また、栗駒地区、鶯沢地区及び金成地区に水防倉庫を新築しました。



更新した救助用ボート



金成地区に新築した水防倉庫

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

消防団装備充実強化事業

2,499万円

戦略3

(担当：消防本部総務課総務係)

林野火災時等に使用する可搬式散水装置及び水害等の災害現場で、活動時の安全を確保するための救命胴衣並びに雨衣を整備しました。



(左)救命胴衣 (中)雨衣 (右)可搬式散水装置



救命胴衣を着用し水防訓練を行う消防団員

栗駒山火山対策事業

248万円

(担当：危機対策課防災係)

気象庁は、火山防災のために監視・観測体制の充実の必要がある全国50の活火山を常時監視しています。その一つに栗駒山も含まれており、栗駒山周辺の県や市などで構成する栗駒山火山防災協議会でハザードマップの作成に着手し、住民や登山者、観光客の安全確保に努めています。



栗駒山火山防災協議会による現地調査

防災指導員フォローアップ事業

136万円

(担当：危機対策課防災係)

宮城県が開催する防災指導員講習会を受講し、認定された防災指導員を対象として、フォローアップ講習を実施し、防災指導員のスキルアップを図りました。



フォローアップ講習を受講する防災指導員

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

学府くりはら「教員等配置事業」

戦略5

4, 775万円

(担当：学校教育課指導係)

きめ細かな教育活動を行うため、市独自に教員を採用して35人学級を編制することにより、学校生活の基本となる学習習慣や生活習慣の着実な定着を図りました。

学府くりはら「少人数指導事業」

戦略5

1, 382万円

(担当：学校教育課指導係)

中学校の国語・英語などの授業で、生徒の発達に配慮し個性に応じた教育を行うため、少人数指導の教員を配置し、きめ細かな指導を行い、学力向上を図りました。

放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）

戦略3

1億6, 696万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

市内全地区で就労等により昼間保護者が家にいない児童（小学生）を対象に、安心して過ごせる遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図るため、放課後児童クラブを実施しました。

実施期間

4月1日～3月31日

※土曜日、日曜日、年末年始等を除く。

実施時間

平日（登校日）： 13：30～18：30

長期休業日等： 7：30～18：30



放課後児童クラブでの子ども達の様子

青空大使派遣事業

戦略5

569万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

市内の中学2年生20人をオーストラリアへ派遣し、現地生徒との交流やファームステイを通じ、国際的視野を持った人材の育成を図りました。



アサートンハイスクールで現地生徒と交流する団員

北部学校給食センター整備事業

戦略5

7, 991万円

(担当：学校教育課学務係)

北部学校給食センターの給食提供に向けて、給食配送車や食器等を購入し、8月の夏休み明けから、市内の小・中学校7校に安全で安心な給食の配食を開始しました。



小・中学校に配食した給食

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

クロスカントリーコース整備事業
戦略1・3 3,694万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

「築館総合運動公園いこいの森」の園内遊歩道を、クロスカントリーコースとして利用できるよう、遊歩道の整備や案内看板・誘導標識を整備しました。

ホッケー競技推進事業
戦略1 524万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

「ホッケーのまちくりはら」を確立するため、オーストラリアの中学生・高校生のホッケーチームと国際交流試合等を行うとともに、東京オリンピックに出場する選手団の事前キャンプ誘致活動を行いました。

栗原ハーフマラソン大会の開催

戦略1・3

495万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

日本陸上競技連盟公認の栗原市ハーフマラソンコース(若柳地区)を会場に、市民の健康増進やスポーツによる交流人口の増加を図るため、第2回栗原ハーフマラソン大会を開催しました。

第2回栗原ハーフマラソン大会参加者数

ハーフの部	573人
10kmの部	202人
5kmの部	137人
2kmの部	126人
親子ペアの部	276人(138組)
招待選手	4人
合計	1,318人



晴天に恵まれた第2回栗原ハーフマラソン大会の様子

(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

伝統芸能活動支援事業

50万円

(担当：文化財保護課文化財係)

文化財に指定された民俗芸能の保存・継承を目的として、保持団体の事業活動や道具更新に要する費用の一部を助成しました。



更新された衣装(弥助ばやし)



発表会への出演(神楽)